

令和5年度行政事業レビューシート ( 法務省 )

事業名	公安情報電算機処理システムの整備・運用			担当部局庁	公安調査庁	作成責任者	
事業開始年度	昭和62年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部総務課	総務課長 吉田 純平	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	破壊活動防止法 第27条 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律 第5条、第7条、第8条、第29条			関係する 計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画 デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン		
政策	破壊的団体等の規制に関する調査等を通じた公共の安全の確保を図るための業務の実施(Ⅱ-8)			主要経費	その他の事項経費		
施策	破壊的団体及び無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する調査等(Ⅱ-8-(1))						
政策体系・評価書URL	https://www.moj.go.jp/content/001370470.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	本システムは、本庁と地方支分部局間のオンライン化により、収集・分析した情報を迅速にデータベース化して一元的・総合的に共有・管理する当庁の基幹システムであり、本システムの安定的・効率的な整備・運用を通じて、円滑な業務遂行に寄与し、もって公共の安全の確保に資することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	本システムは、令和4年度に全面的な更改作業を実施したところ、今後も引き続き、保守対応期限を迎える機器について、順次更新を図る必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	本システムは、本庁と地方支分部局間のオンライン化により、収集・分析した情報を迅速にデータベース化して一元的・総合的に共有・管理するものであり、本件事業は、システムの整備・運用に必要な機器等の購入及び保守の委託等に関するものである。						
事業概要URL							
実施方法	直接実施						
補助率等							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	27	36	95	173	248
		補正予算(B)	277	1,762	599	644	
		令和5年度第1次補正予算				644	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	238	1,744	587	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 238	▲ 1,744	▲ 587	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	66	292	1,851	1,404	248
執行額(G)	55	293	1,821				
執行率(%) =(G)/(F)	83%	100%	98%				
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	18%	16%	262%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	破壊的団体等調査費			重要政策推進枠:72		
	(目)	団体等調査業務庁費	173	248	・保守内容の見直しに伴う減 ・システム機器の更新等に伴う増		
		その他					
		計(A)	173	248			

活動内容① (アクティビティ)		当庁職員が使用する本システムを安定的・効率的に整備・運用する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		職員がシステムを利用する。	システム利用者数	活動実績	%	1,614	1,654	1,710	-	-
				当初見込み	%	1,704	1,649	1,694	-	-
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		システムの安定的な稼働が、業務の効率化・円滑な業務遂行につながることから、システム稼働率(システムトラブル等なく、業務を継続することができた割合)を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		システムを安定的に稼働させ、職員が滞りなく業務を遂行できる環境を維持する。	システム稼働率(システムトラブル等なく、業務を継続することができた割合)	成果実績	%	100	100	100	-	
				目標値	%	100	100	100	-	
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		当庁内集計によるもの。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティである「システムの安定的・効率的な整備・運用」が、最終目標である「職員が滞りなく業務を遂行できる環境の維持」に直接結びつくため。								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									



公安調査庁  
1,821百万円

公安情報電算機処理システムの整備・運用  
事業に必要な物品の購入及び役務の契約等



【随意契約(その他)等】

A.株式会社A  
ほか  
1,821百万円

システム更改及びシステム機器設定役  
務の契約並びにシステム機器の購入

**資金の流れ**

(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載）	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	雑役務費	システム更改に係る設定役務等	590	-	-	-	
	備品費	システム更改に係る機器購入	421	-	-	-	
	消耗品費	システム更改に係る機器購入	9	-	-	-	
	計		1,020	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社A	-	システム更改に係る設定役務及び機器購入等	1,020	随意契約(その他)	-	-	
2	株式会社B	-	システム更改に係る設定役務及び機器購入等	653	随意契約(その他)	-	-	
3	株式会社C	-	システム更改に係る工程管理支援等	70	随意契約(その他)	-	-	
4	株式会社大塚商会	1010001012983	ソフトウェアライセンス料	33	一般競争契約(最低価格)	5	89.4%	-
5	株式会社D	-	システム更改に係る設定役務等	32	随意契約(その他)	-	-	
6	KDDI株式会社	9011101031552	通信回線増速作業	6	随意契約(その他)	-	-	
7	株式会社E	-	システム機器購入	4	随意契約(その他)	-	-	
8	東陽工業株式会社	7010401020291	LAN配線敷設作業	0.9	随意契約(少額)	-	-	
9	富士通株式会社	1020001071491	システム機器修繕	0.3	随意契約(少額)	-	-	
10	Dynabook株式会社	8010601034867	システム機器修繕	0.2	随意契約(少額)	-	-	